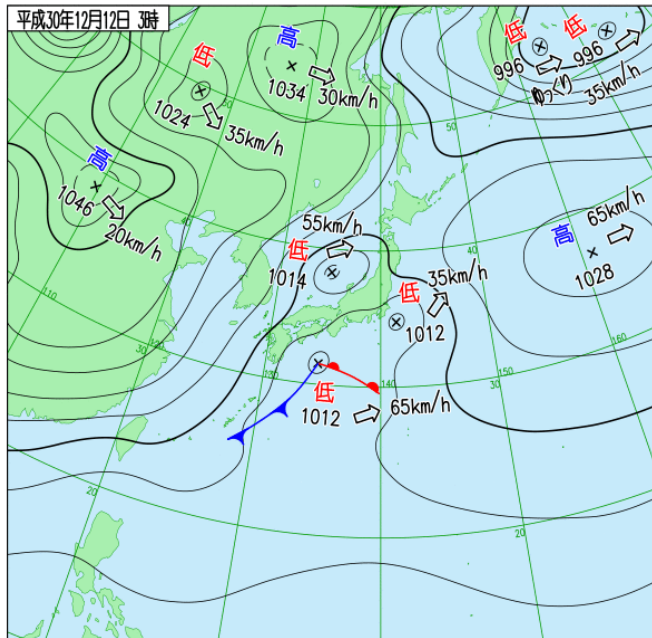


「北軽井沢の初雪(2)」

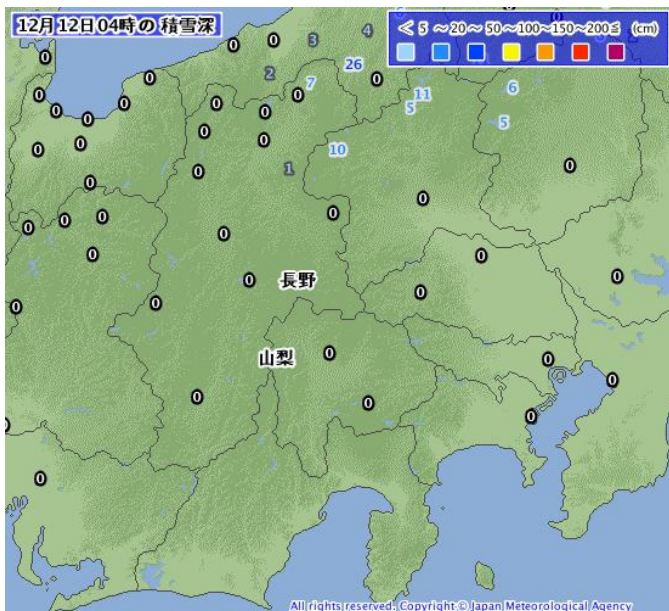
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



予想通り、九州南岸の「への字型前線」の折れ目に、低気圧が発生した。東に向かって時速65kmと、非常に俊足である。この「にわか南岸低気圧」が、関東地方の山沿いに初雪をもたらしたのだ。



図は、12日未明(午前4時)の甲信地方の積雪深さ(アメダス数値)である。栃木県や群馬県の北西部、長野北部、新潟南部に積雪が見られる。北軽井沢に一番近い田代(嬬恋村)では、10cmの積雪を記録していることがわかる。



写真は、12日未明(午前2時)の山荘庭の様子だ。初雪にしては大雪で、やはり10cmほど積もっている。



こちらは12日午前4時の北軽井沢交差点の様子だ。国道146号線(左下~右上)にも、県道54号線(右下~左上)にも積雪が見られ、今シーズン初めて出動した、大型除雪車(黄色の車輛)も写っている。



朝になって気温が2.4°Cまで上昇し、雪は早くもとけ始めたようだ。私は根雪(春までとけない雪)になると思っていたが、意外と簡単に消えるかもしれない。